

総務くらし建設委員会所管事務調査「アグリサポート事業」について

1 事業の目的・概要について

長久手の農を支え、様々な人材を農地につなげ、地域農業の再生を図るため、関連主要事業を総じて「アグリサポート事業」とします。

令和5年度から、これまで直営で運営していた農楽校事業は、外部委託しています。加えて、市民が気軽に相談できる農アドバイザー事業及び農機具貸出事業を新たに開始しました。

2 アグリサポート事業の主要事業の体制について

- (1) 農地マッチング支援事業(継続) … みどりの推進課事務
 - (2) 市民農園事業(継続)
 - (3) 営農相談事業(新規)
 - (4) 農機具貸出事業(新規)
 - (5) 農楽校事業(継続)
 - (6) 有害鳥獣対策事業(継続) … 長久手猟友会(委託)
長久手市鳥獣被害防止対策協議会(協力)
- (一社)長久手アグサポ倶楽部に一括委託
拠点はアグリサポート事業振興施設
(旧集出荷選果場)

3 主要事業について

- (1) 農地マッチング支援事業
令和3年10月から事業開始し、実績は32件の貸し手の登録があり、令和5年10月末時点で、12件の借り手とのマッチングが成立しています。
- (2) 市民農園事業
全66区画(30㎡/区画)の全てが利用されています。利用料は15,000円/年
- (3) 営農相談事業
ア 相談は無料、予約制で農楽校のコーチなどが相談相手になっています。
イ JAの営農相談と差別化するため、初心者向けの相談を積極的に実施しています。
ウ 市民農園利用期間終了者には、農地マッチング支援事業へ誘導しています。
エ 新規就農者へ、あぐりん村等への出荷を支援します。
- (4) 農機具貸出事業
ア 耕運機(有料)、草刈機(有料)、剪定枝粉碎機(無料)の貸出しを行っています。
(耕運機は、農楽校で使用しない日に貸出しを行う。)
イ R4年度まで草刈機4台の無料(燃料なし)貸出しを直営で行ってきましたが、有料化(燃料満タン)し一括して外部委託しています。なお、使用料の徴収は市が行っています。
ウ 利用料金は、肩掛け草刈機300円/回、自走式草刈機2,500円/回、管理機(耕運機)1,500円/回、アルミブリッジ300円/回、剪定枝粉碎機 無料

(5) 農楽校事業

- ア 毎週水曜日に実習、年間10回金曜日に座学の講義を実施しています。
- イ 前熊前山地内の畑の他、東山地内の水田で水稻の実習を行っています。

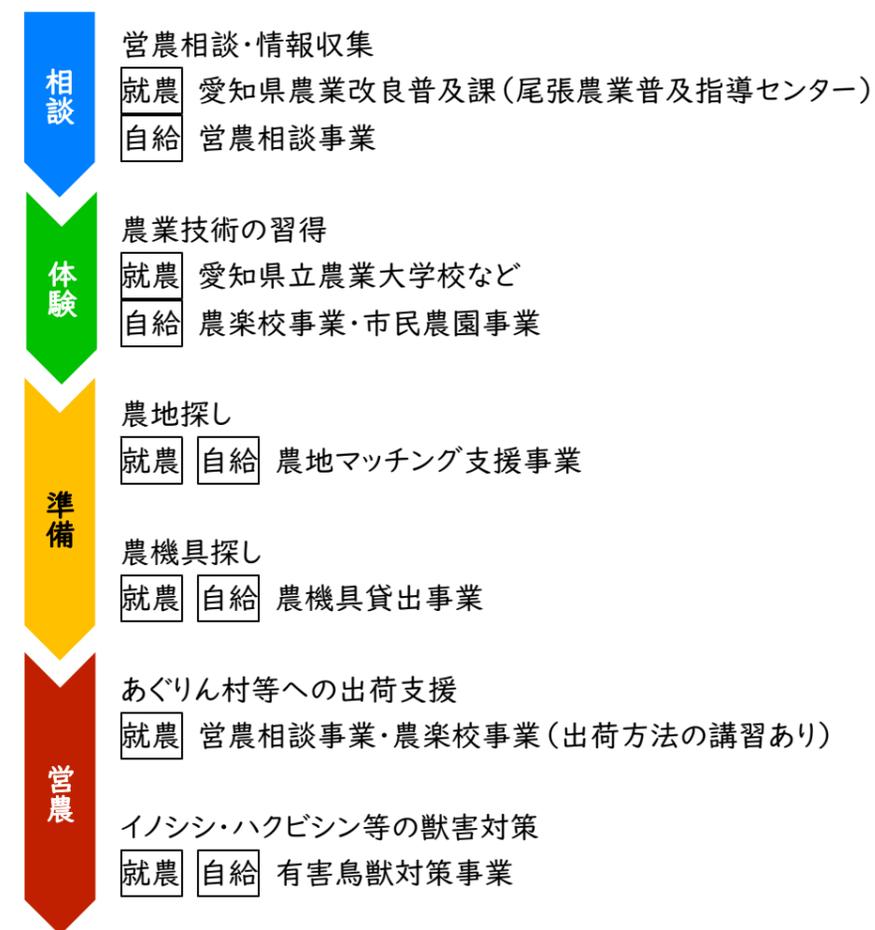
(6) 有害鳥獣対策事業

長久手猟友会に捕獲委託し、長久手市鳥獣被害防止対策協議会と協力し事業を行っています。

4 市が目指す営農開始までのフロー

凡例: 就農…本格的に就農を希望する者

自給…自給的な小規模農業、家庭菜園を希望する者



5 一般社団法人 長久手アグサポ倶楽部について

令和4年度まで、市民農園指導委託を受託していた団体(たがやっせサポートクラブ)と、農楽校の運営に携わっていたコーチやボランティアスタッフ及び農政を長く担当していた元市職員が集まり法人を設立しました。